



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿ノ台
小
学
校

令和 6 年 9 月 13 日

第 12 号

令和 6 年度全国学力・学習状況調査結果のお知らせⅢ

【児童質問紙調査】

今年度も、子どもたちの学習や生活の状況について調べる児童質問紙調査が、タブレット端末を利用して実施されました。「生活、考え方や行動について」（今号）と「学習について」（次号）に分けてお知らせします。

質 問	R6 鹿小 (R5/R4)	全 国 (R5)
自分には、よいところがあると思う	84.4 (88.2 / 70.6)	84.1 (83.5)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	82.2 (88.2 / 76.4)	89.9 (89.8)
将来の夢や目標を持っている	83.4 (87.1 / 79.4)	82.4 (81.5)
友達関係に満足していますか	88.9 (94.6 / なし)	91.1 (90.3)
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	91.1 (94.6 / なし)	91.7 (91.0)
人が困っているときは、進んで助けている	93.4 (89.3 / 87.2)	92.7 (91.6)
人の役に立つ人間になりたいと思う	93.3 (95.7 / 93.2)	95.9 (95.9)
いじめは、どんな理由があってもいけない	96.6 (98.9 / 95.1)	96.7 (96.9)
困りごとや不安なことは、先生や学校にいる大人に相談できる	65.6 (64.6 / 68.6)	67.1 (68.5)

生活、考え方や行動について

※掲載の写真は、結果と分析の記事の内容とは関係はありません。



夏休みの出来事紹介 2年生

認めてもらっている、と思うことができている児童の割合が低めであることが気になります。

身近な大人に褒められ認められることが、子どもたちの自信と自己肯定感を高めることに繋がります。自分のよさに気づき、人の役に立ちたいと感じる子どもたちがたくさんいる鹿ノ台小学校です。2学期以降も、子どもたちのがんばる姿、素敵なおところをたくさん見つけて認めていきたいと思います。

自分の良さに気づき、それを認めることができること（自己肯定感）は、昨年度よりは下がりましたが全国平均と比べ少し上回っており、この数年上昇傾向です。

困っている人を見かけたら進んで助け、人の役に立つ人間になりたいと思い、8割を超える児童が将来の夢や目標を持っていると答えています。

一方で、友だち関係に少し不安を感じ、幸せな気持ちになることがあまりないと感じる児童が9%弱いること、`先生に



朝の見守りと登校の様子

食に関する指導 カルシウムをしっかりとうよくかんで食べよう

9月5日、給食センターの栄養士の方による「食に関する指導」がありました。対象は、4年生と3年生。4年生は1クラス1校時ずつ「じょうぶな体はじょうぶな骨から」の授業で、3年生は給食を食べながら、「よくかんで食べよう」のお話でした。

4年生でははじめに腕の骨の模型と骨の断面写真を見せてくださいました。丈夫な骨を作るには、牛乳にたくさん含まれているカルシウムを摂取することが大切です。栄養士の方のお話によると、1日摂取の目安は700mgで、学校給食では牛乳をはじめ様々な食材を通して、半分の350mgが摂取できるように献立が工夫されています。授業では献立の成分表をもとに、グループ活動で、牛乳以外のカルシウム含有量の多い食品について調べました。すると、大豆製品(豆腐 195mg)や乳製品(ヨーグルト 83mg)、魚類(ししゃも



カルシウム含有量が多い食品を探す 4年

フライ 98mg)、緑黄色野菜(こまつな 60mg)が名を連ねました。ところが、意外なことに、ハンバーグ(130mg)やコッペパン(35mg)にも、多くのカルシウムが含まれていることが分かったのです。どうしてでしょう。実は、ハンバーグには魚粉を、コッペパンには脱脂粉乳を特別に練り込んでもらっているのです。カルシウムをめぐるこんな工夫と努力がなされているとは驚きです。栄養バランスを考えて食事する大切さを学びました。



“一口30回以上かむ”に挑戦中 3年

3年生はよく噛んで食べると脳の働きと消化を助け、歯が丈夫になることを教えてもらいました。

よりよい学校生活づくりのために

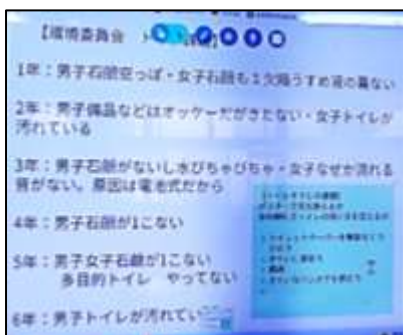
環境委員会

9月2日月曜6時間目に委員会活動の時間(年間6回)がありました。委員会は「集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる」(学習指導要領)ことを目的としています。本校では5、6年の子どもたちが9つの委員会のいずれかに所属し1年間活動を行っています。年間6回の委員会活動の時間以外にも曜日ごとに当番活動を行ったり昼休みに集まったりしています。



トイレトペーパーのむだづかいをなくすよう呼びかけるポスター下描き中

環境委員会は、学校の環境に関わる活動として、花壇の苗植えと水やり、トイレの美化、エコキャップ集めなどに取り組んでいます。この日は最初に、手分けして学校内の全トイレを調査してきました。「トイレの課題」を見つける視点を持って調査をしてみると、手洗い後に水を垂らして床がびしょびしょになっていること、濡れた上を踏むと靴の汚れが付いて汚くなってしまうこと、トイレトペーパーの使い方が雑でちぎれた屑が落ちていることなどに気がつきました。この気づきをもとに、課題改善のために自分たちができることを話し合い、ポスターと全校朝会で全校に呼びかけることを決めました。私が教室に覗きに行った時はちょうど、手分けしてポスターのデザインを考えて作り始めているところでした。



教室の大型モニタに写真のようなものが映し出されていたので、担当教員に訊ねると、「トイレの課題」を共有し、話し合ったことをまとめるために、担当児童が黒板書記代わりにタブレット端末のロイロノートというアプリを使ってその場で打ち込み先生のパソコンに提出したものを映しているとのことでした。黒板ならその日の委員会が終われば消えてしまうし、ノートへ記録する手間が生じます。時短で効率が良く、実に「令和的」だなあと感心してしまいました。

教室の大型モニタに写真のようなものが映し出されていたので、担当教員に訊ねると、「トイレの課題」を共有し、話し合ったことをまとめるために、担当児童が黒板書記代わりにタブレット端末のロイロノートというアプリを使ってその場で打ち込み先生のパソコンに提出したものを映しているとのことでした。黒板ならその日の委員会が終われば消えてしまうし、ノートへ記録する手間が生じます。時短で効率が良く、実に「令和的」だなあと感心してしまいました。